

広報 鳥海の里

題字 開成支援課かえで寮 沢 口 金 男さん

第128号 平成19年2月20日

発行 秋田県心身障害者
コロニー保護者会

ホームページアドレス <http://www.fukinoto.or.jp/colony> E-mail colony@fukinoto.or.jp

保護者会事務局

TEL(0184)32-1082 FAX(0184)32-1083

生産品直売所「歩人」TEL(0184)33-4310

地域生活サポートセンター「歩人」TEL・FAX(0184)32-0123

秋田県心身障害者コロニー

秋田県由利本荘市西目町出戸字孫七山3の2

TEL(0184)33-2255 FAX(0184)33-2044



赤光支援課こぶし寮共同作品 貼り絵「2007あきた」

主な内容

- * 平成18年度実践発表会 2~3
- * 秋田県ともだちの会 4
- * サポートセンター 5
- * 私たちの日中活動 6
- * 寄贈・除雪機購入・利用者の動き 7
- * ふれあい文化祭・新年あいさつ会 8

2007
秋田わか杉国体

コロニーも応援しています。



平成十八年度実践発表会

開催される

実践二

「わくわく作業班の取り組み」

銀杏支援課

主事 阿部秀昭

去る十一月二十九日、コロニー大広間において、恒例の実践発表会が開催され、各支援課で取り組んできた研究の成果について発表されました。

発表内容について抜粋しご紹介いたします。

実践一

「高齢者の豊かなくらしを目指して」

～口腔ケアのできること～

創生支援課

主事 高橋朋恵

平成十二年に高齢者の介護の現状をテーマに、口腔ケアを中心発表している。今回は前回の発表との比較、また追跡調査から、今後の口腔ケアのあり方について考えてみた。平成十二年の調査では、十名の利

用者を対象に咀嚼・嚥下機能の低下、誤嚥の状況を取り上げていたが、その後を追跡調査した結果、誤嚥性肺炎の記録が目立っていた。近年肺炎は増加傾向にある。特に高齢者にとっては深刻な疾患であることから、高齢者の誤嚥性肺炎に関する研究、また発症のメカニズムを紹介することで、口腔ケアの重要性について示した。そしてこの口腔ケアを行うことがおいしく食事をすることにつながり、生活の自立、生きる意欲の充実へつながつていくことを期待している。

また、口腔内の状況に関するチエックシートをもとに、十二名の利用者を対象に口腔ケアを実施した。ケアを行うこととすぐに効果が得られるとは限らず、根気強い日々の支援の積み重ねが大切である。口腔ケアは特別目新しいものではなく、日常的に埋もれがちとも言える。しかしこの口腔ケアが、生命維持に欠かせない「食事」と直結しており、また高齢者の豊かなくらしにつながつていくものと考える。

高齢者、作業能力の低い利用者が多く、就労に結びつけることが難しい現状だが、これからもわくわく作業班を継続して行うことにより作業意欲、情緒の安定に繋がっていく

人達が、日中活動として作業場「わくわく棟」へ出かけ作業を行うようになり、どのような変化が見られるようになつたのか、意識や行動にどのような変化が現れるようになつたのか、あるいは全く変化はなかつたのか一度検証してみたいと考えた。

個々の特性を活かした作業を増やせるよう働きかけを行い、作業に参加しなかつた人達が徐々に参加し作業が日中活動として定着し始めた。なぜこのような意識を持ち得ることができるようになつたのかと考へると、やはり毎日の予定があり、自分にできることがある、必要とされているとの思いがあるのではないかと推測される。



「自閉症の特性に基づいた個々の支援の取り組みについて」

主任 仲 川 章胤

白光支援課

利用者への支援において、すぐに成果が出るということは稀であり、特

特に加齢につれ能力の伸長は困難である。特に自閉症の利用者は、その特性である「興奮」、「強いこだわり」等により、幼児期や若年時は支援（訓練）に乗つてくること自体が困難である。

自閉症の利用者に、あるきつかけで変化が見られたことにより、利用者個々の特性に合わせた支援をとはわかっていても、どうしても一般的な言葉や感覚で接してはいなかつたかと、あらためて考えさせられた。また、幼児期の両親との関わりや訓練（教育）の成果が、自閉症の「興奮」、「強いこだわり」が落ち着いた頃に何らかの形で発現することもあるため、家庭と施設の連携ができていれば、本人の能力が開花する最良の手段をとれるのではないかと思われる。

—サービスの向上を目指して—

平成18年度自己評価を11月に全職員で実施しました。その結果を踏まえ、取り組む課題をコロニー全体と各支援課ごとに設定しました。職員一同、今後ともサービスの質の向上を図っていきたいと思っております。

コロニー全体で取り組む課題

- ・個人情報の取扱いに係る規程内容について周知を図り、情報提供について本人の承諾をとります。
- ・地域生活移行に向けての検討をしていきます。

創生支援課

- ・プライバシー保護のため、居室にカーテンを取り付けます。
- ・脱衣所に扇風機を設置します。

銀杏支援課（更生）

- ・プライバシー保護のため居室についているカーテンを活用します。

銀杏支援課（重度）

- ・他施設との交流や情報提供に努めます。

赤光支援課

- ・利用者の事故、急病への対応や緊急・災害等においての訓練を実施します。
- ・主体的活動を支援します。

白光支援課

- ・体罰についての研修に参加します。
- ・利用者の会発足の準備をしていきます。
- ・利用者向けの情報誌を提供します。

開成支援課（授産）

- ・地域生活に関するサポートをしていきます。
- ・個別支援に力を入れます。

開成支援課（更生）

- ・疾病に対し適切な対応をしていきます。



平成十八年度

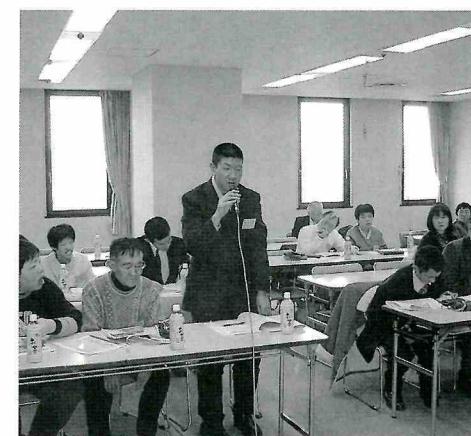
秋田県知的障害者本人活動事業

第八回秋田県「ともだちの会」

ともだちの会に参加して

かえで寮

岩野伸吾



私は、第一分科会「私のなやみ、みんなのなやみ」に参加しました。その分科会の中で、障害者の人が歩道橋から子供を投げ落とす事件の話がでした。そんな出来事は、二度とあってはいけないといました。地域で生活する人も施設で生活する人も事件を、おこさないように暮らしていくべきだと思います。

一月二十四日・二十五日の二日間に渡り、秋田市において、第八回秋田県ともだちの会が開催され、この度我が施設からは、五名の利用者とグループホーム入居者一名が参加しました。今大会のテーマでもある【私たちの力で】に強調されるようたちが主役・新時代へ切り開こうきました。

本人活動事業の一つに位置づけられているこの会は、施設間の交流の場でもあり、自分の思っていることをみんなの前で発表できる、絶好の場でもあります。本人活動とは何かと問われた時、『知的な障害がある人達を構成員とした、本人達が決定権を持つたグループ活動』と答えるかも知れません。本人活動は、仲間と共に自分らしく活動していくことを通し、自分達と社会の関係を見つめ、社会への働きかけをしていくよ

うな、そんな広がりを持っている活動だと認識しています。

また、この活動が果たす機能を細かく述べれば、第一に、セルフヘルプ・グループとしての機能。第二に、非常に自発性の高い別の場である。

第三に、そこに参加する者にとって、多元的な場が持てる。第四に今まで出来なかつた事が出来たり、日常生活を送つていただけでは身につけられなかつたであろう技能を習得したり、伸びたり出来る。そして第五に、グループとして活動することで力をを持つことが出来る。このような機能を有効に果たすことができば、会として更なる発展が望めるものと思います。

障害者自立支援法が施行された今、社会では脱施設化が進んでいます。この会は、施設へ入所している利用者にとって、自立に向けてのスキルアップの場としてのSST（社会生活技能訓練）的な存在になっていくのではないでしょうか。そして、利用者一人ひとりが『自己決定』する力を身に付

け、『エンパワーメント』を發揮できる会になつて欲しいと願つています。

（開成支援課 蓬田博之）

お知らせ

障害者自立支援法が十月から本格的にスタートしました。これに伴い、コロニーでは次の事業に取り組んでいます。

◎ 指定相談支援事業

利用者の意思人格を尊重し、その人の立場に立った相談支援の提供に努め、課題解決を図っていきます。

◎ 共同生活援助事業

入居者の自立と社会参加を促進し、一人の市民として地域で生活をできるように支援します。

◎ 短期入所事業

短期的な施設利用を提供し、その人に必要な援助を行います。

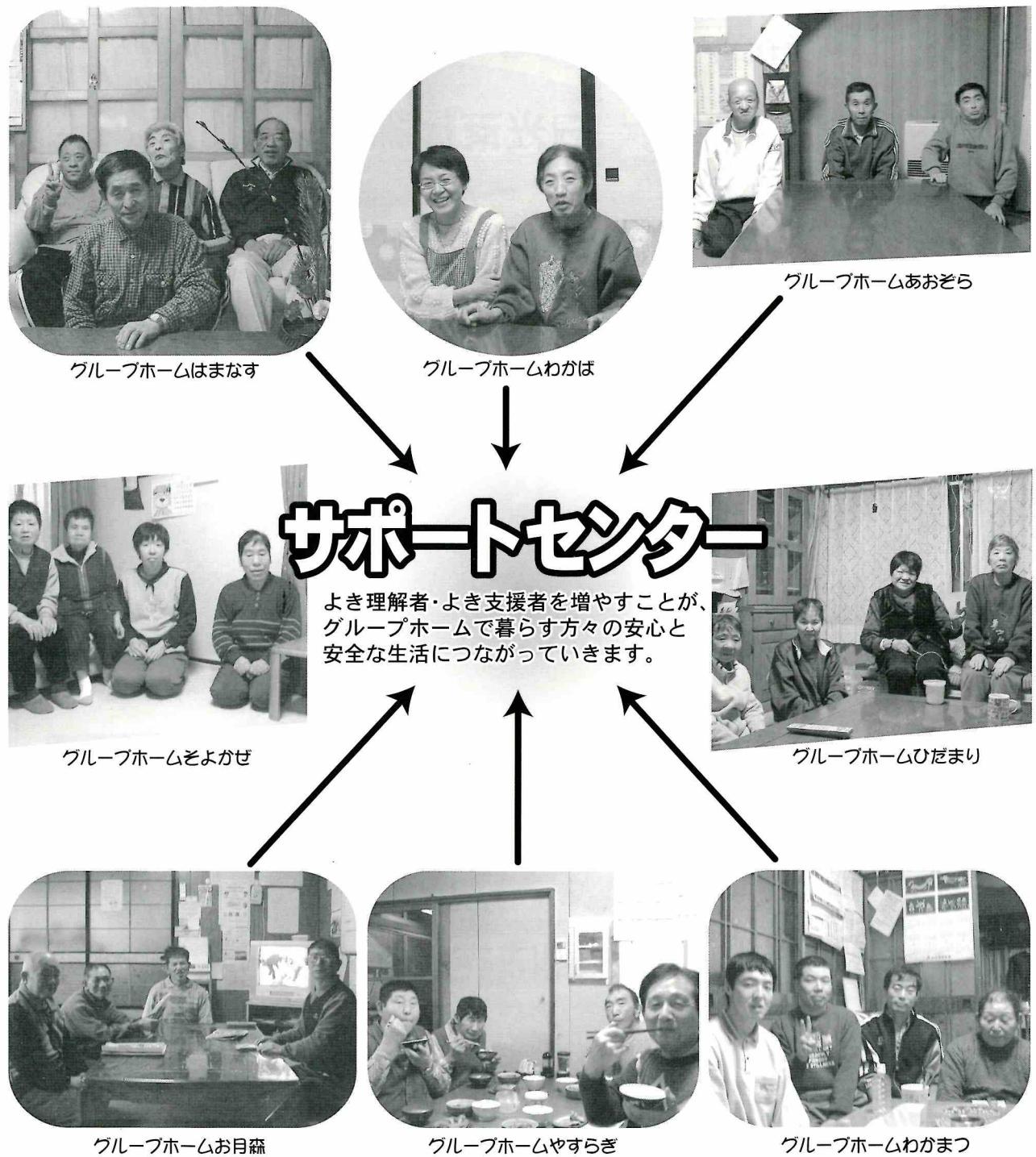
◎ 日中一時支援事業

日中における活動の場を確保し、在宅で障害者を介護している家族の負担軽減のお手伝いをします。

■お問い合わせ

地域支援課／佐藤・木村

電話 ○一八四一三三一二二五五



「地域で暮らす」

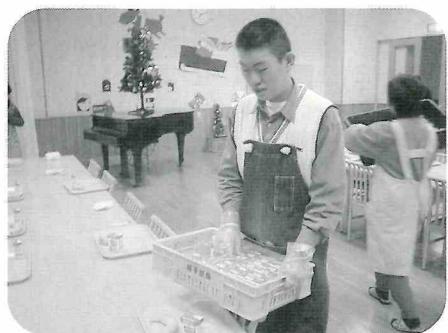
コロニーでは八ヶ所のグループホームがあり、二十九名の方々はそれぞれの活動を通して地域で暮らしています。地域で暮らすためには何よりも家族の理解、よき支援者が必要です。

そのためにも、サポートセンターを拠点にしてコロニー全体で支援を続けていきます。

今後さらに、新たなグループホームやケアホームの設置を目指していくつもりです。ご家族、関係機関の皆様のご理解とご協力をお願いします。



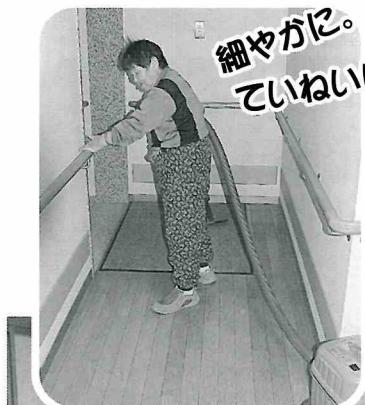
白光支援課



今日は食事当番です。

庭を皆できれいに!

私たちの日中活動を紹介します



開成支援課



▶

事務所掃除実習中



会話を楽しみながらのペーパー折り



余暇活動は刺し子に夢中

寄贈

平成十八年十一月十六日
秋田魁新報に掲載されました。

住友生命さんより
ポリッシャー二台を
寄贈して頂きました。



住友生命と労組
清掃器具2台寄贈
西目の福祉施設

住友生命秋田支社（楠本実支社長）と同労組秋田支部（笛嶋敏幸支部委員長）は十五日、由利本荘市西目町の県心身障害者コロニー（高橋章管理者）に、床磨き清掃器具二台（二十四万二千円相当）を寄贈した。

寄贈は介護と医療の充

実を図る社会貢献活動の一環として、平成元年から実施している。県内約五百人の社員、組合員らの募金で、福祉施設に希望の機器を贈っている。

この日は、楠本支社長と笛嶋支部委員長が同コロニーを訪れ、目録を

贈呈写真。受け取った



利用者代表の男性は「ア

レゼントしていただきありがとうございます。大事に使って施設の中をピカピカにします」と述べた。

同コロニーは、エリア内七つの居住施設の床磨きを中心に、寄贈された器具を使つ予定。

今年はまだ
活躍できないのが残念です。



昨年いただいた保護者の方からの
善意で除雪機を購入しました。
これからは、雪の多い日でも避難
路を確保することができ安心です。

善意

創生園へ
除雪機購入

◆ 利用者の動き

《移動》
六月十五日付

長谷部ヨツ子さん

開成園あじさい寮から

十二月一日付
佐藤紀美子さん

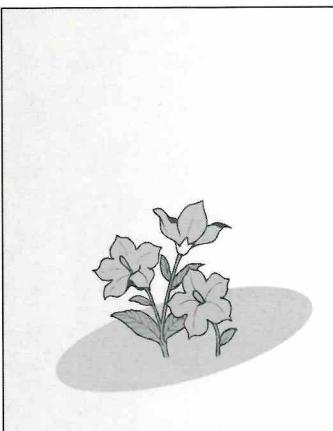
銀杏園すずらん寮から

創生園さざんか寮へ

ご冥福をお祈りいたします

◇ 利用者
はまなす寮 佐藤聖子さん（六十五歳）
こぶし寮 伊藤由彦さん（七十一歳）
小松正吉さん（七十七歳）
あやめ寮 伊藤綾子さん（七十一歳）

◇ 保護者
かつら寮 田口和彦さんの母
トミエさん



ふれあい文化祭

今年も力作勢ぞろい

平成十八年十一月十三日



ふれあい文化祭授賞式

- 管理者賞
白光支援課作業班 共同作品
ちぎり絵「ねぶた」
- 保護者会長賞
赤光支援課こぶし寮 共同作品
貼り絵「二〇〇七 あきた」
- 奨励賞
個人作品 七点
(刺し子・編み物・書道・工芸品・他)
- 努力賞
個人作品 七点
(こてんまり・手芸・工作・他)
- 共同作品 三点
(クラフト・陶芸・他)

新年あいさつ会 ～今年もよろしく～

平成19年1月4日

今年も元気に
頑張りましょう

仲良く
楽しく
生活したい